

研究主題

## 地域への自信と誇り、愛着を深める教育活動の推進

～自他の生命を守る防災教育を通して～

大津市立堅田中学校

令和7年（2025年）3月10日

### ごあいさつ

本校が地域と連携して取り組んでいる防災教育について、実践報告としてまとめ滋賀県教育会主催の令和6年度教育実践奨励事業に応募しましたところ、栄えある「優秀賞」を受賞しました。

ひとえに、日頃、本校の教育活動を支援いただいているみなさまのおかげと、深く感謝しております。その概要をまとめましたので、ご高覧いただけますと幸いです。

### 本研究のねらい

- ・堅田学区では昭和9年の室戸台風によって、浮御堂が倒壊するなどの被害が生じ、現在も堅田中学校は水害時に1.0m～2.0mの浸水が想定されている。
- ・地域と協働して防災教育に取り組み、生徒と地域住民の方々との顔の見える関係を作り、共に活動することを通して防災への意識を高め、ひいては地域への自信と誇り、愛着を深めることが本研究のねらいである。

<b>実践 1</b>	<b>学校夢づくりプロジェクト実行委員会による企画・運営</b>
<b>実施時期及び対象</b>	令和6年6月頃から 全学年対象
<b>ねらい</b>	・生徒の意見や発想を活かし、リーダーとなる生徒が主体的に行動できる場を設けることで、さらに主体性や意欲を高める。
<b>活動の様子</b>	・公募の実行委員会（1年生2名、2年生1名、3年生5名）で、「防災集会」と「避難所体験」の企画・運営を行った。 ・1～3週間に1度のペースで実行委員会を開催し、必要に応じて関係する教員が生徒のサポートに当たった。



■ 実行委員会の様子



■ 生徒と地域、教員の打ち合わせ

- ・実行委員会の生徒たちは、自分たちが立案した諸活動に、参加した生徒が楽しく活動する様子を目の当たりにして、大いに達成感を味わい、新たな意欲が高まった。

<b>実践 2</b>	<b>ふるさと体験学習、葛川少年自然の家にて</b>
<b>実施時期 及び対象</b>	令和6年10月24日、25日 第1学年132名
<b>ねらい</b>	・災害が発生した時の不便さを実感し、代用品を自作する方法などを知ることができる。
<b>活動の 様子</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1泊2日の日程の中で、被災時を想定して炊事活動などを行った。</li> <li>・主な内容=新聞紙でスリッパ、お皿作り、間伐材を用いたスプーン作り、空き缶を利用したカレーの調理など</li> <li>・学校運営協議会委員等、地域の方4名に参加いただき、野外炊事を支援いただいた。</li> </ul>



■生徒と委員が共に調理



■顔の見える関係作り

・学校運営協議会委員には、子ども達の活動の様子を実感していただくことができた。生徒は、遠く離れた場所まで地域の方が来てくださったことで、より安心感をもつことができた。

<b>実践 3</b>	<b>防災集会、講演とクイズで学ぶ</b>
<b>実施時期 及び対象</b>	令和6年11月13日 全学年384名
<b>ねらい</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市危機・防災対策課の活動、および被災地の支援の様子を学ぶ。</li> <li>・クイズを通して防災に関する基礎的な知識を楽しく学び、防災への意識を高める。</li> </ul>
<b>活動の 様子</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市総務部危機・防災対策課の職員による講演会（30分）を開催し、「地震災害に備えて」「能登町での避難所運営支援の実際」などについて学んだ。</li> <li>・続いて実行委員の生徒による防災に関する三択クイズ大会（15分）を行い、楽しみながら防災について学んだ。</li> </ul>



■防災についてクイズで楽しく学ぶ



■講演への謝辞を述べる実行委員会の生徒

・防災集会は、実行委員会の発案で実現した集会で、当日の進行、講演に対する謝辞、クイズの運営などをすべて実行委員会が担った。生徒たちは大いに達成感を味わっていた。

実践 4	避難所体験
実施時期 及び対象	令和6年11月30日 第3学年129名、地域の関係者約130名
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の役割や運営方法を知ることができる。</li> <li>・災害発生時に自分の身の安全を守り（自助）、地域や周囲の人たちと協力して助け合う（共助）という考えをもち、災害に備えることができる。</li> </ul>
活動の 様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は5つの班に分かれて、避難所の運営や炊き出しの準備などを行った。</li> <li>・実行委員会の生徒は、開閉会式の運営と、福祉テントの設営を担った。</li> <li>・この避難所体験は堅田学区の防災訓練に合わせて、訓練の一部に参画する形で実施した。</li> </ul>



■地域の方と調理



■かまど作りと火の管理



■福祉テントの設営

・生徒が地域の方と活動を共にすることにより、「災害時は、地域の人との協力が大切だと改めて感じました」など、共助の精神を育みつつ、地域住民との相互の理解・信頼が深まった。

実践 5	防災フィールドワーク
実施時期 及び対象	令和7年1月28日 第1学年133名
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に共助に役立てるよう、自分たちが居住する地域の防災施設等を知る。</li> <li>・防災施設等について地域の自治会の方から直接説明を聞き、自分たちが暮らす地域のよさや、ありがたさを実感し、お互いの信頼関係を深める。</li> </ul>
活動の 様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は学校から14の自治会へ移動し、施設の見学や地域の方からの講話、質疑などの実習を1時間程度行った。</li> <li>・地域からは、自治会会長や自主防災会員など、合計25名の方々に協力いただいた。</li> </ul>



■自治会の防災設備について、現地で地域の方から直接説明を聞く。

・生徒が地域の方から直接説明を聞くことは、被災時の備えや対応方法などについて知識を得るだけでなく、相互の理解・信頼が深まる点においても意義が深かった。

# 得られた成果、今後に向けて

## 【互いの理解・信頼を深める視点】

- ・「防災」をテーマにした教育活動に学校・生徒・地域が共に取り組む機会を通して、さまざまな年代の人たちがお互いの得意なこと、不得意なことも含めて相互に理解し合うことができた。
- ・お互いの信頼感を深めることができ、実際の災害の時には一致協力したいという気持ちを新たにすることができた。

## 【生徒の主体性・意欲を高める視点】

- ・生徒による実行委員会を活かし、活躍できる場と機会を十分に確保することで、生徒の主体性や意欲を大いに高めることができた。
- ・まさに本校の学校教育目標「豊かな心を持ち、主体的・意欲的に活動する生徒の育成」を実現している姿である。

## 【大人の主体性・意欲を高める視点】

- ・学校と地域がともに防災の取り組みを盛り上げることができたのは、学校運営協議会で議論する下地があってこそである。
- ・学校運営協議会をはじめとして、広く地域や行政との関係を築くために、今後も常日頃からの協働を大切にしていきたい。

### ■ 11/30 避難所体験を終えて生徒の声の例

- ・地域の人同士のつながりが大事だと思いました。防災やヨシ刈りなどのボランティアに参加して、堅田の人たちと関わる機会を増やしていきたいと思いました。
- ・地域の人が気軽に参加できて、生徒と話し合う機会ができたらいいなと思います。部活動の時に知り合った方が参加されていてうれしかったです。
- ・地域の人と協力して無事にカレーを作ることができてよかったです。実際に災害が起こった時も今回のように協力して、少しでも避難所に貢献できたら良いなと思います。

### ■ 1/28 防災フィールドワークの事後学習レポートの例

(小香城) 自治会 1年(3)組

タイトル 小香城での防災について

#### 漁業会館

漁業会館では倉庫の中を見させてもらいました。

倉庫の中の物

- ・ダビットファイヤーポンプ … 琵琶湖の水を汲み上げて火を消すためのポンプ車 (左の写真の物) ここを回すとサイレンが鳴る
- ・ピアカー … 災害時に物を運ぶもの など

#### 月影公園、やま公園

月影公園にはかまどベンチがありました。やま公園では防災倉庫の中を見させてもらいました。

・倉庫には54種類もの防災グッズがある  
なかにはチェーンソーもある 一時避難場所…大きな避難所に行くまでに一時的に避難する場所

このような公園は「一時避難場所」という  
小香城には4か所ある

#### 防災・消防施設整備について

月影公園に行く途中、消火器庫とホース格納庫の中を見させてもらいました。

ホース格納庫の中  
 ・消火ホース  
 ・スタンドパイプ  
 ・簡点  
 ・キーハンドル  
 ・スタンドパイプ  
引き上げキー

消火器庫の中  
 ・消火器1つ  
消火するための道具

小香城にはこのような防災設備が27か所ある。  
4か所は11月10日

#### Q&A

Q. 小香城が一番危険だと考えられる場所はどこですか？

A. 家が密集している場所  
理由、消防車などが入れない可能性があるから

Q. 小香城から近く、災害が起きたても安全だと考えられる避難所はどこですか？

A. 堅田中学校

#### 家族と話したこと

この防災フィールドワークが終わり、家族とは小香城自治会の災害設備や防災倉庫の中に何が入っていたかという話をして話をしました。さらに、災害が来たときには一時避難所も頭に入れて行動するよう話し合いました。

#### 講師の方々へ

講師の皆さん、僕たちに色々なことを教えてくださりありがとうございました。この貴重な経験を今後も活かしていきたいと思っています。

令和 7 年 (2025 年) 3 月 1 0 日

## 大津市立堅田中学校

〒520-0242  
 滋大津市本堅田三丁目 2 番 1 号  
 電話 077-572-2165

※共に教育活動に携わっていただきましたすべての関係者様に深く感謝いたします。  
 ※プライバシー、肖像権保護のため、解像度の低い画像をしている部分があります。



### 学校教育目標：豊かな心を持ち、主体的・意欲的に活動する生徒の育成

↑ 5つの青色ライン：校歌にある「紺碧（こんぺき）」＝深く濃い青色をベースにして、創立当時の組合立滋賀中央中学校が堅田・仰木・真野・伊香立・蜀川の五つの地域で成り立っていたことを象徴的に表しています。